

64.4
No. 10

発行 三股町
編集 総務課

みまた新聞

三股町の人口

3月1日現在

男 7,104人
女 7,828人
計 14,932人
世帯数 3,610戸



今日から楽しい一年生

三股町町民憲章

わたくしどもは歴史に輝き、山河うるわしい三股に生を受け先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ郷土愛と開拓精神をもってこゝに明るく豊かな明日の町づくりのために、この憲章を定めます。

一、常に新しい希望をもって郷土の開発につとめよう。

一、教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。

一、環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。

一、生活を工夫し、よりよい風習をつくりましょう。

一、力をあわせ、ねばり強く住みよい町を築きましよう。

希望の春

陽春の四月、桜の花は今が真盛り、ちら／＼と散る桜の木蔭で声も高らかに、「あゝ玉杯に花受けて：」などと、花見の宴も又格別なものがあります。

れんげや菜の花は春のにおいをほのかにたゞよわせ、その香りを求めて蝶は舞いかよい、どてにはすみれの花もかれんに咲いております。野も山も里も春のムードで一ぱいです。

四月は新入学、進級、就職の月でもあります。新入学のこどもにとっては入学ということは大変な生活の変化でありますので家庭においても学校の方針とよく協力して子供に張りあいを持たせてやるように心掛けましょう。

又中学、高校卒業生にとっては進学する人、実社会に巣立つ人、それ／＼堅い決意と輝やかなしい希望をもって新しい人生に向ってスタートするわけであります。これら青少年の健康を祈ると共に誠意と理解をもつてこの門出を励ましてやりたいものです。

新しい地区 公民館活動

四つのねらい

去る一月、二月の広報で紹介しました地区公民館活動の在り方、機構等については更に幾多の検討を加えて二月一九日の町議会において慎重審議されその了承を得て四月から実施することになっておりますが、地区公民館はより公的であり、新時代の要請に応じたものであり且つ私達町民の為のものであることはもとよりであります。更に次の四つのねらいがあります。

(一) 公民館活動の仕組を簡素化すること：二八の部落を七地区に統合し末端組織を強化する。(部落のかべを取り外し、又複雑に入りこんだ大小さまざまの班を凡そ二〇〜三〇戸位の単位に新らしく明確な支部を作り行政上の恩恵を平等にする)

(二) 公民館活動の近代化と地区の総合的開発を行う：公民館活動をすゝめるのに館長一人の頭脳に総てを委ねるのではなく幾つかの分野に分れて夫々の機能をもつて分担し館長を補佐して

商工業者の皆さんへ

春は大変乾燥する季節です。少い掛金で大きな資金を県が保証する「火災共済」へ加入しましょう!!
手続きは町商工観光課へ
三股町商工会へ

調和のとれた活動をすゝめるための部長制を確立し、広い視野で総合的に広い地域の開発を行う。

(三) 社会教育の均等化と公民活動の格差是正を図る：小さな部落毎ではその活動が区々で、断片的で部落間の格差が生じるので大地域の活動によって一部落の百歩前進よりも全部落の十歩前進を図る。

(四) 住民福利の増進と利益の平等化を図る：社会教育も行政も私達町民のためのものであり、私どもはこれを均等に受け入れることがその活動の基本であります。しかし部落の大小や、その他諸種の理由によって住民の負担に軽重があり、又負担が重くは目的に副わらない。前記のような革新的な地区公民館活動をするのも私達住民の負担を少しでも軽減して、福利は均等に増進するのが目的であります。従って地区の歳入源と歳出面の調整にも深く意を用いております。

山王原
上米間

上米線が完成

役場前より上米に通ずる上米線の道路改良工事が完了いたしました。この道路は桃山、宮村に通ずる主要道路で、車の通行量も多く、今までの中員五米では狭く、その危険性が心配されて、早くから拡張の必要性が痛感されておりましたが町においては事業費七四〇万円を投じて昨年九月より中原建設の手によって改良工事に着手、この程中員一、延長四五八米にわたって見事に整備完成、今後桃山、宮村地

区に通ずる幹線道路として、愈々その重要性を高め、又この地域一帯の発展に寄与するものと期待されております。

櫛田部落内 道路も竣功

櫛田は東西に細長く部落が連なっており、部落内を東西に通ずる最も交通量の多い北側の道路が荷車もやっと通れるぐらいの狭い道路でこれまで長い間不便をかこっておりまし



完成した上米線

私達の道路は私達の手で... 奉仕風景



が、これをなんとか改良しようとした熱心な話し合いが進められて、その拡張工事が去る一月より地元民の汗の奉仕によって進められておりましたが、この程中員五米、延長三六〇米が見違えるような立派な道路に出来上りました。「これだけあればもうしめたもの」と地元の人達の喜びは大変なものがあります。

曲り角に立っていると言われている農業も現在に於いてはすでに角を曲り終って新しい方向に向って進みつつあると言われております。ひるがえって私達

市郡農業委員研修会 農業近代化へ

北諸盆地は一体となって進もう

北諸盆地は一体となって進もう。北諸盆地は一体となって進もう。北諸盆地は一体となって進もう。



熱心に見入る各市町村農業委員

事業を実施して県内外から異常な注目を集めている三股町に於いてはその研修会が開かれました。農業委員連絡協議会長(都城市長)及び地元三股町長、議長よりあいさつがあったのちバス二台を連ねて町内各地区の現地研修を行ないました。農業構造改善事業による農業最重要幹線として沿線一帯の急速な発展を促しております。

この都三道路に四月一日より愈々バスが運行されます。その回数二一回線、三股一都城間の交通は愈々至便となってきました。内植木線経由は四回線、又山王原、宮村間に四回線のバスが運行されます。

新鮮な卵を見分けるにはカラのざら／＼しているものが、光沢のないもの、すかして見て明るいものを選ぶことです。

卵の見分けかた

卵の見分けかた。新鮮な卵を見分けるにはカラのざら／＼しているものが、光沢のないもの、すかして見て明るいものを選ぶことです。

愈々都三道路に バスが運行されます

四月一日より

中員一、延長の都三道路はすでに昭和三四年に完成、その舗装もすでに一、四〇〇米にわたって完了、今後更に舗装延長も計画され、今や三股、都城間の最短に

月産一千万 第三期工事 完成で四千万

九新工業株式会社

すでに操業開始

本町は 昨年十月 内陸工業 地帯として 低開 発地域として 指定 を受け その 第一号 として九 新工業株 式会社 誘致がな り、その 建設に昨 年十二月着工、昼夜兼行の 突貫工事がなされておりましたが此の程第一期工事を 完成、栄える未来の郷土、 三股を象徴するかのよう に その偉容を植木原に表して おります。 大小二つの熔鉱炉に従業員 五二名をもって去る三月六 日より操業、うなるような ぐう音の熔鉱炉、真赤なド ロ／＼の鉄の液体、散る火 花、そしてその中にうき 出される従業員の真剣な顔 まさに男の職場としてのた



九新工業株式会社

くまじさが感じられます。「現在風呂釜として丸釜、角釜それに平釜を生産し、月産一千万円更に第二期工事、第三期工事と完成し、すくと月産四千万円にはなりません」と専務取締役工場長、吉崎憲三氏は語っております。

在月三〇〇屯、経路をつたって全九州より収集され、その製品は確立された販売ルートにより北は北海道から南は九州に至るまで全国に出荷されることになっております。私達の郷土、三股の製品が全国にゆきわたるのもそう遠くはないようです。

汗の奉仕

今や人生七〇年と 言われております。 今後更に文明、文化 の進歩に伴ってもつ と／＼平均寿命は伸 びる傾向にあります。 人生八〇年もまんだ

未来の国ブラジル ドイツの小説家ステファ ン・ツヴァイクはこう云 った。明日の国或いは廿 一世紀の国、と世界中の 人々がその期待をかけて いるブラジルを残念乍ら 我々は余りにも知らなす ぎる。 我々が知っているのはコ ーヒーとアマゾンの魔境 と、それ以外に何がある だろうか。 幸い数多くの人々の助力 によって私は二年半の間 ブラジルに住み、そして 見聞する機会を持ったの でこゝにその概観なりと も述べてみたいと思う。

寄稿 未来の国 ブラジル(上) 二宮公雄 君臨したものだ。それが一九二九年の不況を契機として工業化が進められ、特に第二次大戦後ますます社会構造の变化が起っている。ブラジルはインフレだとよく云われる。確かにそうなのだがこの国は日本と違い食糧が豊かにかつ廉価なので終戦後我々が味った様な苦しさは全然ないし、又他方インフレは急速な工業化

に必然的に伴うものなのかも知れない。工業化と呼び始めて都市に人口が集中し始め、サンパウロ市は現在四三〇万の人口を擁し、南米最大の都市となつてゐる。 南米の工業の六割がこゝに集つてゐると云われてゐるアメリカ、ドイツ、イタリヤ、日本と各国の企業がそれ／＼自国の移民が築いた地盤を足がかりに続々進出し、サンパウロ近郊はまさに世界のトップメーカーのショールームにみたく感じられてゐる。

ら夢ではないかも知れませ ん？今町内には老人クラブ が各部落に結成されてお り、これからの第二の青春 をもつと明るく、もつと健康にとそれ／＼活潑に活動 しております。 蓼池老人クラブは男子二六 名、女子三三名、計五九名 (会長福永広記氏)がおり ますが部落内をもつときれ いな環境でと話し合い、う ら／＼かな或る春の一日、「若 けもんよ、おっどんが後に 続け」と男子は道路の整備 を、女子は公民館の清掃に 汗の奉仕をしました。 こゝちよく一汗流したあと 「おっどんも若けもんに負 けんごつ、楽しまんにヤ」となごやかな笑いのうちに 座談会を開き楽しい一日を すごしました。

未来の国 ブラジル(上)

二宮公雄

に君臨したものだ。それが一九二九年の不況を契機として工業化が進められ、特に第二次大戦後ますます社会構造の变化が起っている。ブラジルはインフレだとよく云われる。確かにそうなのだがこの国は日本と違い食糧が豊かにかつ廉価なので終戦後我々が味った様な苦しさは全然ないし、又他方インフレは急速な工業化

筆者の紹介

二宮公雄氏は本町山王原の出身で東京大学建築工学科を卒業後ブラジルに渡り、ブラジル大学院に研究して、その任務を果して、この度帰国されましたが母校東大から嘱望されて、新設された都市計画科の研究員として勤務されております。



老人クラブのなごやかな奉仕風景

サップ先進地視察記(下)

梶山みかん同志会

満行次 一弘
宮田孝一

第三日目

第三日目は観光コースも組まれた変化に富んだ一日でした。

まず庵原農薬を見学した後日本平果樹集団地、つづいてスカイラインコースのドライブの旅でしたが、すべてみかん園の中を走り、その広大さには全く驚くばかりでした。

つづいて石垣イチゴで有名な久能山、ついで静岡県柑橘試験場へと向いました。柑橘試験場では改植試験、肥料試験、整枝試験などを見学いたしました。

第四日目

視察旅行四日目は神奈川県に入り根府川果樹試験場

を見学しました。

この地方の平均気温は一四・五〜一五度(C)で三股町より低く、しかも年間雨量が一、八〇〇〜二、〇〇〇ミリと少い為ソーカ病の発生も少く、みかんの肌がとても美しいという事でした。

又この地方ではすでに構造改善事業により恒温恒湿の貯蔵庫が建築されており、翌年の三、四月までみかんを持ち越しているという事です。

現在生産されたみかんは六〇%が貯蔵、残り四〇%が秋季に販売されている模様です。

尚此の地方の施肥基準は一〇a当りN四〇kg、P二八kg、K三八kgでこの内秋肥に四〇%、春三〇%夏三〇%が施されているという事です。

第五日目

第五日目は愈々東京でした。

日本人口の約一〇%が住むと言う大都市だけに日々移り変り、その車の混雑する事には一同びっくりでしたが神田市場見学に向いましたが話しによりまずと

樹の中で現在みかん四〇%、リンゴ四%が取扱われており、中でもみかんは一日約三〇〇貨車取り扱っているとの事でした。

宮崎県における本年度のみかん出荷計画が三〇〇貨車と聞いていましたので全く良く喰うものだとびっくりしました。

このような状況ですから生産過剰などの心配は必要ないようです。

ところで宮崎県からの出荷については大体九月二〇日以前に出荷しなければ高値は望めそうにありません。

それは他県産に比較して外観は八分着色でも糖度は非常に高いので早期出荷計画が必要になってくるのではないだろうか、その為には本県に適した施肥設計の必要があり、サップ会員皆さんの今後の研究課題としてとり上げてほしいと励ましの言葉を頂きました。

又本県からの本年度出荷の状況は第一回の出荷は高岡町産のみかんのみで占められた為粒も揃い、糖度も一定して非常に好評です。ところが第二回目のも

のは県内あちこちのものが一緒に出荷された為に品質が不揃いとなり評判を落したとの事でありました。

この点も今後買う立場になって生産し、販売しなければならぬ事を一同痛感いたしました。

第六日目(第八日目略)

むすび

以上あわたぎしい短期間の視察旅行ではありましたが各地で色々と学ばねばならない点を痛感いたしました。

特にみかんサップグループだけに東京市場での説明は身にこたえ、今後消費者が或いは販売業者が望むものを作る為にはどうしたら良いかという事を考えました。その結果

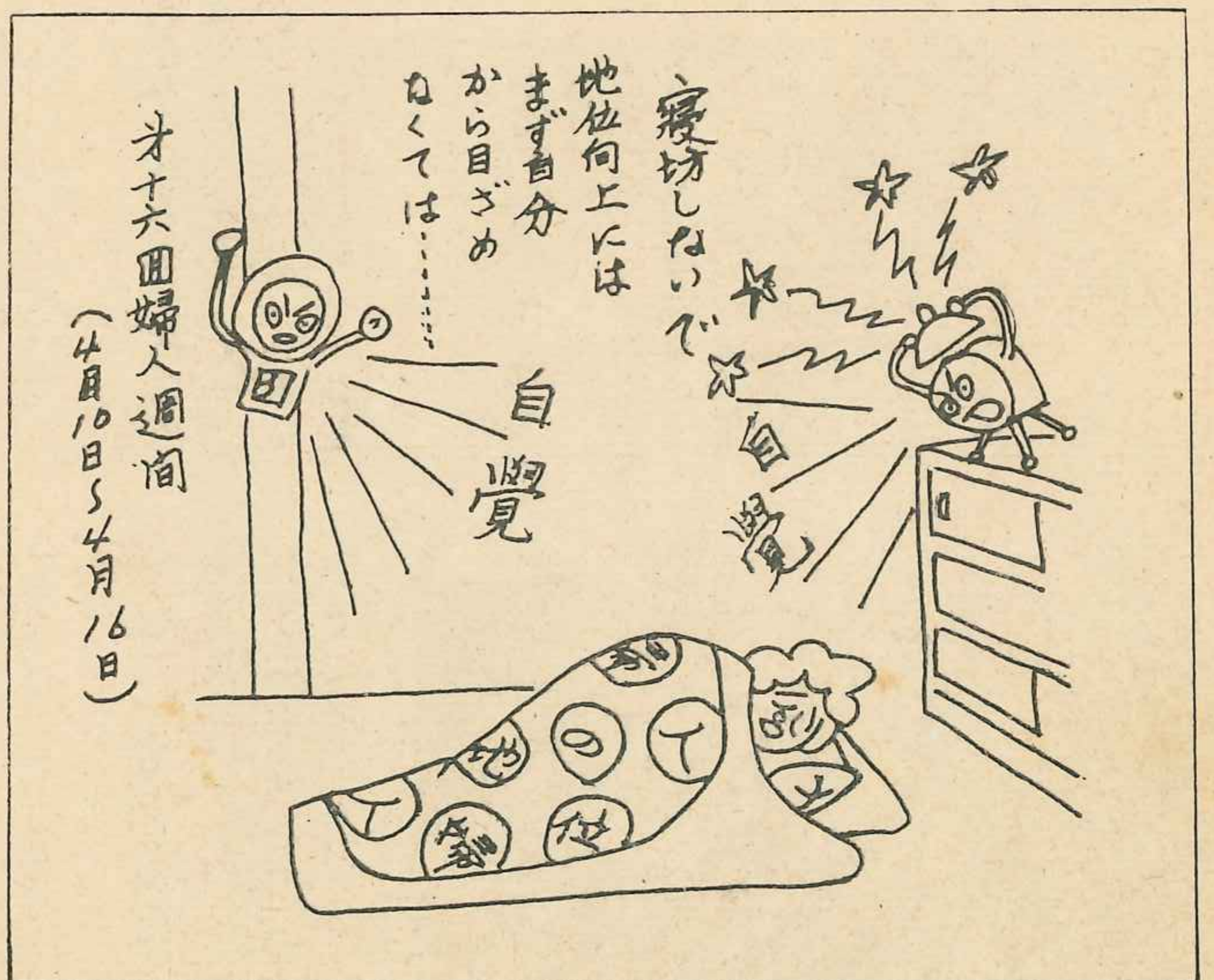
- ① 先ずみかんの集団栽培
- ② 共同防除
- ③ 共同施肥設計
- ④ 共同荷造出荷

など強力に推進しなければならぬ事を強く感じました。

幸い本町では農業構造改善事業の実施地区として指定を受け愈々その実施の運びとなっており本町の農業を近代化してゆく立派な施策だと考えます。

町民一丸となって私共農民の収入を二倍にも三倍にも増やしてゆくためにこの事業の推進をはかる事が絶対必要な事であると思いま

す。私共サップ会員も微力乍ら積極的に協力し、三股町発展の為に努力したいと愈々決意を新たにいたしております。



春とねむ気

「春眠晩をおぼえず」とありますが春になりますと夜もよく眠りますが昼間でもよくいねむりするようになります。

春さきの暖かい気温は皮膚に与える刺激が少くなるもので脳の中にある「目ざめの中枢」の働きがにぶくなるせいだと言われています。

それでねむ気を防ぐにはどこかつねるとか、風にふかれるとか、或いは立って歩かして皮膚からの刺激と、からだを動かして刺激

をあたえることです。しかし疲れてもいないのにからだに妙にだるくどうしても眠くて困るという場合にはどこか身体の調子が悪いところがあるからです。

有難うございました

左記の方々の忌明にあたってそれ〴〵御遺族の方から寄附をいただきました。御趣旨にそって社会福祉事業に活用させていただきます。

- 金貳千円 故工藤元二
- 金貳千円 故岩崎幸雄
- 金参千円 故丸山吉太郎
- フヂ子

両君の宮田(左)行

